



校長室から

校長 河須崎 恒

秋の「つるべ落とし」ではありませんが、朝晩めっきり寒くなってきました。今年の秋は駆け足ですね。

さて、10/27 から秋の読書週間が始まりました。まだ戦争の傷跡がそこに残っていた終戦の2年後、今から68年前に「読書の力で平和な文化国家をつくろう」と産声をあげたのだそうです。今ではすっかり日本の国民的行事となりました。春（GW 中）に行なわれた「子どもの読書週間」。今年のキャッチフレーズは「本は キラキラ 万華鏡」でした。素敵ですね。小さな子供たちが目をキラキラさせて本の世界に入っている姿を想像させてくれます。一方、秋の標語は「いつだって、読書日和（びより）」です。最近あまり本を読んでいなかったと思い当たった方は、早速手にしてみてください。

昨年の「学校読書調査」によると、携帯電話やスマホで世の中の出来事を知る高校生が5年前の47%から74%と激増。生徒にとって情報収集の手段としては、まさに「進む新聞雑誌離れ・広がるスマホ」です。一方で、子供たちの読書量も増加しており、さらには、本を読まない子供より本を読む子供の方が、「よりよく電子機器を利用できている」という調査結果もありました。情報基盤社会と称される現代ですが、「情報の言葉と違って、本の言葉には重さがあり、そこに凝縮して存在している。重さがあるということは、すぐには消化できないことであり、重さを手にした人間は重さと付き合うことを要求される。」と、現代評論家の小林康夫さんが書いておられました。「考える読書」は、ある意味苦しみを伴います。ですが、その苦しみも含めて「考える」という喜びでもあります。

『めくる めぐる 本の世界』。昨年の読書週間標語です。一人でも多くの高校生諸君が、本の豊かな世界を楽しんでもらえることを願ってやみません。

～11月以降の主な行事予定～

- 11月2日：いばらき教育月間・学校公開
- 25日：地域合同避難訓練
- 12月1日：第四回定期考査（～4日）
- 16日：保護者面談～21日まで
- 22日：閉講式

秋は行事が盛りだくさん

まずは スポーツの秋 体育祭



あまり練習時間がとれないためか、こういうシーンが続出。でも、多少の擦り傷切り傷は勲章。何度転んでも走ります。



2年生綱引き優勝の瞬間。左端で拳を挙げて叫んでいるのは担任です。一番大きな声を上げて喜んでいました。

下の写真は、部対抗リレー、女子の部。各運動部の威信をかけて、というのは大げさですが、手を抜く選手はいません。先頭は、陸上部3年生。絶対に負けるわけにはいきません。



終日晴天、まさに秋晴れの空の下、全校生徒が生き生きと過ごした一日でした。3年生は、最後の大きなイベント。この日を最後に、就職試験や進学準備が本格化します。それぞれの希望を実現させるべく、努力の成果を発揮してくれることを願っています。

沖縄へ行ってきました～2年生 修学旅行～

見えますか？滝に打たれてみました。滝壺で泳いでいる生徒もいます。沖縄、「やんばる」と呼ばれる本島北部、トレッキングの後でこんなご褒美に出会えました。



沖縄修学旅行、無論「修学」です。事前学習でお話を聞いた「ひめゆりの塔」を訪れ、戦時中、人々が避難していた自然洞窟＜ガマ＞にも入りました。ガマの中は今まで体験したことのない本当の暗闇。70年前にあの中



で生きた人々の事を思う時間でした。生徒たちは、改めて、平和への思いを強くしていました。

民家にも宿泊させていただきました。家族同様に接して下さった暖かさに、別れの涙があふれていました。

「修学旅行」では、一般の旅行では体験できないことをたくさんしています。きっと、一生の宝物となったことでしょう。

こちらは芸術の秋～「爺さんの空」～10/8

修学旅行中、鹿嶋勤労文化会館をお借りして、芸術鑑賞会が開かれました。今年は、戦後70年ということもあり、特別攻撃隊を扱った芝居です。3年生の感想を紹介します。



最初は戦争にはあまり興味がありませんでしたが、劇団員の皆さんの演技にいつの間にか入っている自分がいて驚きました。そして、戦争を知らない私たち若い世代も、更に若い世代に、戦争があった事実を伝えていかなければならないと改めて思いました。

鹿高なう～秋～

陸上部 新人県大会

- 男子 4×400m R 第8位
- 男子 やり投げ 第8位
- 男子 800m 第8位
- 女子 三段跳 第6位

弓道部

- 中野優勝旗記念大会 男子団体 準優勝
- 男子個人 第3位

関東弓道個人選手権選抜大会出場 男子個人

サッカー部 全国高校選手権大会茨城県大会

- 10/24日(土) 対 波崎 6-0
- 10/28日(水) 対 下妻第二 2-0
- 11/1日(日) 対 明秀日立 0-1

1年生はバス見学会も・・・10/6

キャリア教育の一環として、都内の企業と大学を見学してきました。企業は、セイコー、サントリー、東京証券取引所や造幣局、新聞社などです。大学は早稲田、慶応、上智、青山、筑波、学習院、成蹊。写真は、早稲田にある坪内逍遙記念演劇博物館です。三年後は「見学」ではなく・・・



編集後記：今年の芸術鑑賞会、『爺さんの空』には、「神ノ池航空隊」という台詞が出てくる。戦時中、鹿島・神栖地区にあった部隊のことである。夏には、「戦後70年」ということで、神栖の図書館でパネル展が開かれた。また、新日鐵住金の近くには、櫻花記念碑と掩体豪も残されている。この地にその頃からお住まいの方の中には、彼らと過ごした時間の記憶をお持ちの方もいらっしゃると思う。今回の芸術鑑賞会、未来を生きる若者が、忘れてはならない過去の記憶と向き合うきっかけになってくれたら、と思う。

茨城県立鹿島高等学校 学校だより

『鹿苑だより』第18号（隔月刊）

発行：茨城県立鹿島高等学校

校長 河須崎 恒

編集：広報委員会

中沢雅彦 山崎律子